

夏合宿 南ア：白根三山縦走

- ◆日程 2016年8月11日(木)～8月13日(土)
- ◆メンバー L：須田健、雫、山中、佐藤俊



今年の夏合宿は南アルプスの北岳～間ノ岳～農鳥岳の白峰三山縦走を2泊3日の日程で行なった。3000mの山々が連なる南アでも、標高第2位の北岳と第3位の間ノ岳に農鳥岳を加えた白峰(しらね)三山縦走は南ア屈指の人気ルートだ。しかしながら、スタートの広河原から北岳まで標高差1600mもあり、行程も長く決して楽なルートではない。

新人を含めた合宿であったが、天候にも恵まれ終始予定通りの行動ができた。緑濃い南アの眺望とお花畑、豊かな自然にたっぷり浸ることが出来て、とても楽しめた3日間であった。

8月11日(木) 天候：晴れ

7月の「海の日」に引き続き8月の「山の日」も南アルプスに登りに来た。「山の日」は平成28年の今年から16番目の国民の祝日として誕生しました。『山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する』ことを趣旨としています。日本は、国土の73%を山地とする山国です。古くから山を崇め、森の恵みを楽しみ、自然とともに生きてきました。この美しく豊かな自然を守



り、次世代へ引き継ぐことの大切さを考える良い機会にしたいものです。

7月と同様に甲府駅にてステーションビバークし4；35発のバスにて広河原を目指す。臨時便も入れてバス5台となった。早めに並んだため1号車に乗る。警察が山の安全のしおりを皆に配っていた。7月には無かったバスガイドさんの詩や車窓の案内アナウンスがあり楽しませてもらった。バスからも白峰三山が望めることも分かった。芦安、夜叉神経由し順調に進む芦安の市営駐車場はいっぱいである。ここから乗ってくる登山者は座れず立となった。



肩の小屋のテント場の夜明け

広河原は多くの登山者が出発の準備をしている。我々も身支度を整え出発する。野呂川の吊り橋を渡り広河原山荘で登山届を出し白根御池小屋を目指す。日差しは強いが大樺沢ルートと違いこちらのルートは樹林帯のため涼しく助かる。白根御池小屋は明るくきれいな小屋、水は豊富で冷たい。名物のソフトクリームを須田リーダーはほおぼっていた。

ここからは「草スベリ」という急な尾根があるが我々は一気に登りきる。名前の通り雨が降ると滑ってしまうくらい急な斜面だ。ここには高山植物が多く咲いている。7月とは違い秋の花も交じっていた。大樺沢右俣コースと合流しハイマツが出てくると目の前に甲斐駒ヶ岳が聳えている。後ろには鳳凰三山が右には仙丈岳がきれいに見える。

ひと登りすると今日の幕営地の北岳肩の小屋に到着する。トイレ近くの良い場所にテントが張れて安心する。北岳山頂をまじかに、甲斐駒ヶ岳、仙丈岳、鳳凰三山、富士山、中央アルプス、北アルプスを眺めながら今日の疲れがふっとぶひと時のビールは格別である。夜も天の川をはじめ満天の星空を仰ぎ、時々出る流れ星に願いを込めた。(記：雫)

CT：7:00 広河原～7:50 休～9:00 休～9:35 白根御池小屋～11:05 2500m 休～11:45 2630m 休～12:15 小太郎尾根分岐休～肩ノ小屋 13:10

8月12日(金) 天候：晴れ

夜明け前に目が覚め外は満天の星空でした。やがて空が白くなり雲海の上に富士山がシルエットとなって浮かんでいた。朝食を取り出発準備が整う頃、青空が広がり、きょうは暑くなりそうだなと思った。北岳山頂を目指し、いよいよ稜線歩きが始まる。力が入るものの、皆に着いていけるかと少し不安でもありました。少し遅めのペースを須田さんが作ってくれ、適度な休憩を入れて頂いたのでバテる事もなく登り下りを行くことが出来ました。

稜線歩きが終わり、大門沢分岐から下りに転じる。体力的にはまだ行けるが、途中何度かつまずいたりした。膝は問題ないが、急坂に加えガスにより地面が濡れていた。更に単調な下りで集中力が欠



けてきたようだ。

小屋に到着した時テントサイトは程なく埋まっていた。なんとか設営を済ませ、冷たい缶ビールを飲みながら夕食を頂いた。寝る前、頂いたスコッチ・ウイスキーは格別の旨さとなった。

(記：佐藤俊)

CT：肩ノ小屋 4:50～北岳 5:30～北岳山荘 6:40～中白根山 7:50～間ノ岳 8:55～
農鳥小屋 10:15～西農鳥 11:55～農鳥岳 12:45～大門沢分岐 13:30～大門沢
合流 15:30～大門沢小屋 16:15

8月13日(土) 天候：晴れ

山中除く3名は、予定どおりに大門沢小屋テント撤収し、9時からオープン of 奈良田の温泉に入るべく急ぎ早に奈良田に下り、甲府にて馬刺し鹿肉にて反省会を行った。

山中は、一足遅く9時頃にツェルトを撤収して、大門沢を楽しみながら、奈良田に13時頃下山、奈良田温泉につかり身延/甲府経由でキヨスクで購入した芥川賞のコンビニ人間を読みながら各駅で帰った。

(記：山中)

CT：5:20 大門沢小屋～6:20 休～7:20 休
～8:30 奈良田



共同装備

品名	個数
テントNo.25	1
銀マット	2
コッヘルNo.5	1
コンロ台	2
ガスコンロ	2
ガスボンベ	中3
ツエルト	1
ラジオ	1
ランタン	1
会旗	1

食料

	朝食	昼食	夕食
8/11	各自	各自	親子丼、 味噌汁 サラダ、焼売
8/12	ラーメン	各自	クリームシチ ュー丼、 卵スープ サラダ、焼売
8/13	うどん	各自	

食料は真夏のため、日持ちして軽量化できるものということで、フリーズドライを多用した。同時に海草サラダなどで栄養バランスが取れるように工夫した。

気象状況

今年の夏合宿は久しぶりの縦走で天気が気になったが連日良い天気恵まれた。北岳から間ノ岳、農鳥岳の3000mの稜線歩きも強い日差しが照りつけ日陰が欲しいくらいの暑さ。午後雷は無く安定した天気。大門沢の下りではガスがでて大門沢小屋到着後、にわか雨が降った。

